

やめよ! 徳山ダム

徳山ダム建設中止を求める会通信
No.74 (2007.10.3)
事務局 TEL/FAX 0584-78-4119
大垣市田町1-20-1 近藤方

ウッソー! とうとう2導水路併設だってえ? 新たなダム作り仕事のなくなった水資源機構の救済事業か

8月5日に朝日新聞が「2導水路併設案」を扱いました。ウッソー! というのが正直な感想でした。中部地整は「あくまでも900億円の事業費を10億円縮減することが出来るから」というけど、あまりにもウソっぽい(トンネル口径が小さくなる距離は大して長くない。最初の積算で”糊代”の数値を仕込めば、簡単に「事業費縮減」は出来る)。諸情報を突き合わせてみても、長良川河口堰からの導水路建設への目論んでいる名古屋市と愛知県の意向が働いているとしか思えません。

中部地整と3県(愛知・岐阜・三重)1市(名古屋)の非公開の密室協議「導水路検討会」で、まるで正式に何かが決まったかのごとく喧伝されていくことも問題です(水資源機構事業にすることなど、何でこの密室協議で決められるのだろうか?)

市民学習会第2弾! ムダにムダを重ねる導水路

講師: 伊藤達也(金城学院大教授) 他 フロア発言

とき: 11月24日(土) 13:00開場、13:30開始(16:45終了予定)

ところ: 桜華会館 富士桜の間(別館2F)

(名古屋市中区三の丸1-7-2 052-201-8076/護国神社の隣)

主催: 徳山ダムをやめさせる会(共同代表・在間正史/伊藤達也)

参加費: 500円

証明しようもありませんが、参院選の与党大敗北が、コトを急がせていると感じます(長良川河口堰の導水路建設の“芽”を作っておく、水資源機構事業として位置づけてしまう…「政権交代」があれば、まず新たに位置づけられない。「政権交代」がなくても時が経つほど無駄の明らかな事業は出来なくなる)。

☆ 木曽川水系河川整備基本方針 ~木曽川正常流量(下流部維持流量) はもっぱら「ヤマトシジミのため」?

8月31日の第74回河川整備基本方針検討小委員会で、河川管理者の「案」が承認されました(まだ官報告示にはなっていない)。大した議論もありませんでしたが、

徳山ダム導水路
分割案に抗議
建設中止求める会
岐阜県揖斐川町の徳山
ダムの水を下流域で使う
導水路事業で、従来検討
されてきた上流ルートに
加え、下流ルートを併設
する分割案が二十二日の
「導水路検討会」で提示
されるのに対し、「徳山
ダム建設中止を求める
会」(事務局・同県大垣
市)は二十一日、「無駄
の上に無駄を重ねる事
業」などとして、強く抗
議する声明を発表した。
上流ルート案は揖斐川
から同県坂祝町に延長四
十四キロの導水路を設け、
毎秒二十トンを放流する。
分割案は途中の長良川で
うち五トンを放流し、下流
の同県羽島市南付近に設
ける延長二キロの導水路か
ら同量を木曽川に戻す。
求める会は「水余りで
導水路計画自体が無駄。
環境改善の名目で長良川
に放流すれば県も応分の
費用負担を求められるよ
うになる」と反発する。
岐阜県の古田肇知事は
二十一日の会見で「コス
ト、費用分担、環境への
影響を考慮して議論に参
加していく」と述べた。

徳山ダム

導水路分割案で合意

国と東海 3県1市 長良川にも放流

揖斐郡揖斐川町の徳山ダムでためた水を木曾川に引く木曾川水系連絡導水路事業について、国土交通省中部地方整備局と東海三県一市（岐阜、愛知、三重、名古屋）は二十二日、名古屋市内で導水路検討会を開き、上流ルートに加え、下流で長良川と木曾川をつなぐルートを併設する「上流分割案」とすることで合意した。導水路事業は二〇〇八（平成二十）年度から建設が始まる見通しとなった。

県負担29億7000万円

検討会では、上流分割案について、国と東海三県一市の事業費の負担割合の案が中部地方整備局から示され、岐阜県は総額八百九十億円のうちの3割、三年度の完成を目標

にしている。中部地方整備局と東海三県一市でつくる徳山ダム導水路検討会は、これまで、揖斐川町の揖斐川から加茂郡坂祝町・愛知県

犬山市境の木曾川につなぐ延長約四十四キロの上流ルート案を軸に検討を進めてきた。この中で長良川中流域の河川環境改善を図るた

たが、上流分割案は上流ルートで四・七割を長良川に、残り一五・三割を木曾川に放流。上流ルートとは別に、下流の羽鳥市南部付近に併設する長良川と木曾川をつなぐ延長約二キロの配管で、長良川に放流された四・七割を木曾川大堰（せき）下流の木曾川に戻す。

これによって、岐阜市など長良川中流域の洪水時に、鮎の産卵や成育に必要な流量が確保されるほか、事業費は八百九十億円（上流施設八百八十億円、下流施設十億円）となり、九百億円を見込んでいた上流ルート案より十億円程度縮減できるとしている。岐阜県河川課は、上流ルートの単独案と同様に、東濃・可成地域の洪水対策効果は見込めるとしている。

一方、上流分割案について中部地方整備局が示した国と東海三県一市の事業費の負担割合の案によると、総額八百九十億円のうち、岐阜県は上流施設二十九億三千万円、下流施設四千万円の計二十九億七千万円としている。



岐阜新聞 07.08.23

木曾川水系連絡導水路事業費用負担割合案

施設区分	費用	用途別	国	岐阜県	愛知県	三重県	名古屋
上流ルート	880.0億円	治水	70.0%	17.0%	30.0%	7.5%	—
		利水	—	—	186.3億円	—	119.1億円
下流ルート	10.0億円	治水	70.0%	17.0%	30.0%	7.5%	—
		利水	—	—	—	—	100.0%
計	890.0億円	治水	45.9%	3.3%	14.8%	1.5%	—
		利水	—	—	20.9%	—	13.6%

*実際の費用負担額は費用全体に各負担割合を乗じて算出されるため、上表の値と異なる。

委員からの意見のほとんどが「整備計画マター」でした（私の耳にする限り）。

河川整備基本方針策定を「本省(霞が関)マター」とた「理由」として、国交省河川局が協調してきたのは「全国的な公平さの担保」でした。ところが、木曾川水系では

① 長良川の治水安全度は「1/100」としました。「流域の人口や資産の集積度合いからすれば、長良川の治水安全度は1/150くらいでない」と他のバランスがとれない」という複数の委員の意見はどこかで消えました。新規ダム計画がないから低めに設定したのでしよう。「建設事業」の有無が先、治水計画は後付け、というのがよく分かります。

② 逆に利水安全度やら渇水時の環境被害には非常に「敏感」で、「1/10を超える異常渇水への対策」に意欲的でした。木曾川の正常流量（基準地点は今渡（69km））の数値の設定を、中部地整の担当者に聴きに行きました。結局は汽水域（感潮区間）である木曾成戸（24km）地点の維持流量－動植物の生育環境保持－に規定される、というのです。その動植物とは？と問うと「主としてヤマトシジミ」だそうです（現在、情報公開請求中）。

長良川河口堰で、長良川のヤマトシジミは壊滅しました。その一方で、木曾川のヤマトシジミには890億円（渇水対策分に限ると580億円）の巨費を投じる…深い憤りを感じます。（「環境被害軽減」の根拠の無さは、近藤昭一議員提出の「質問主意書徳山ダムに係る木曾川連絡導水路事業の目的と効果に関する質問主意書」で明らか。[衆議院 質問答弁 166 国会 378] http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_shitsumon.htm)

☆ 超特急の木曾川水系河川整備計画策定

行政間の密室会議である「導水路検討会（第7回）」でコトの大筋が決まるとすぐに「木曾川水系河川整備計画策定の進め方 ステージⅡ 前半シリーズ」が行われました。

☆9月10日：第6回木曾川水系流域委員会(河川法16条の2第3項の趣旨)／「整備計画のたたき台」を提示。☆9月12日：第2回木曾川三川整備計画策定説明会(16条の2第5項の趣旨) ☆9月15日：第2回ふれあい懇談会(16条の2第4項の趣旨)

そして「ステージⅡ 後半シリーズ」が10月中に行われます。(07.10.01時点の情報)

☆10月9日：第7回木曾川水系流域委員会／ここで「導水路」などの集中審議。

☆10月20日：第3回ふれあい懇談会

890億円の水資源機構事業「徳山ダムに係る木曾川水系連絡導水路事業」を来年度予算に位置づけるためには、「法的根拠*」が必要となります（そうしないと財務省が蹴飛ばす）。

「まず来年度予算に組み入れることありき」で、まともな議論もされず、河川法改正趣旨も無視して、導水路計画の既成事実化がされようとしています。

*「木曾川水系河川整備計画に位置づける」&「木曾川フルプラン一部変更」。

☆ ムダな導水路事業は、治水対策(水害被害軽減)を遅らせる

このような不必要な巨事業を行うことは単に「ムダだ」では済みません。河川整備計画は、この先20年～30年の河川への「投資」のありようを決めます。890億円のムダは、それだけ必要な治水対策を遅らせることになります。水害常襲地域、破堤等で甚大な被害が予測される地域に暮らす人々にとっては、まさに死活問題です。極めて由々しいことです。

第7回木曾川水系流域委員会に、意見書を出します。膨大になるのでCD-Rに落とします。必要な方は事務局にお申し越し下さい(実費として送料込みで500円 お願いします)

8月18日(土)～19日(日) 恒例：徳山村キャンプ

良い場所見つけた！

来年もやろう！

参加者は30名弱で、
これまでに比べて少数でしたが、充実したキャンプ
でした。真夜中の故障車の
救援活動までやって…
水機構徳山ダム 建設所か
ら感謝されました！！



Information1 【川の全国シンポ DVD販売のお知らせ】… 川の全国シンポ事務局より

8月11～12日に徳島で行われたシンポジウムを映像にして、DVDを販売いたします。
吉野川の風景映像とともに、「川を流域住民（あなた）が取りもどすための全国シンポジウム」の様子をお楽しみください。

☆10月中旬発売(予定) ☆価格=1000円(送料別途)

☆予約販売制 (お名前、住所、電話番号、E-mail、数量をお知らせください)

☆申込み先 川の全国シンポ事務局 巢山太一 E-mail office@daiju.ne.jp

〒779-3101 徳島市国府町佐野塚字出口5-7 tel&fax 088-612-9200

Information2 映画「水になった村」(大西暢夫監督作品)

9月8日～コロナワールド(大垣)で好評上映中／10月6日～名古屋シネマテークで上映
その他各地で上映が決まっています。「水になった村」公式サイトでお確かめ下さい。

Information3 荒崎水害訴訟

現地に裁判官が来ます(10月25日午後)。おおよそ本年度中に主張を整理し、立証に入
っていくものと思われます。

Information4 新川決壊水害訴訟

結審しました(9月14日)。判決言い渡しは2008年3月14日午前10時 名古屋
地裁です。

振込用紙を同封します。会費としてでもカンパとしてでも、お振り込み頂ければ幸いです。
特に、今年の会費がまだの方はよろしくお願ひします(今年、会費・カンパを頂いた方
には振込用紙を同封しませんでした。間違って入っていらすみません)

「やめよ！徳山ダム」 徳山ダム建設中止を求める会 代表：上田武夫

編集責任：近藤ゆり子 事務局 〒503-0875 大垣市田町1-20-1

TEL/FAX 0584-78-4119 Email: tokuyama-dam@cside.com

URL: <http://tokuyama-dam.cside.com/>

郵便振替：00800-7-31632 年会費 2000円

徳山ダム導水路2本合意

3県1市 巨費投入に批判も

国土交通省中部地方整備局、愛知、岐阜、三重の3県と名古屋市長古屋市は二十二日、二〇〇八年度に運用開始予定の徳山ダム（岐阜県揖斐川町）の水利用について、長短二本の導水路を建設し、木曾川と長良川に放水する計画で合意した。導水路事業は本格的に動き出す。専門家の間にはダム建設費の三千五百億円に加え九百億円近い公費を投入することに批判的な声も出ている。

国交省と三県一市は同日、見通しだ。今後、事業日、名古屋市内で導水路主体を独立行政法人水資源計画に関する検討会を開源機構に移し、来年度中催。合意を受け、国交省の着工、一五年度の完成は来年度予算の概算要求を盛り込む。同省などは当初、揖斐に建設費の一部を盛り込

二十トの水を直接流す「上流ルート案」を中心に議論してきた。昨年以降、事業費の圧縮と長良川中流域の濁水対策の必要性が指摘され、導水路を二本とし、長良川を経

由して木曾川に入れる「分割案」が急浮上した。合意した案では、下流の岐阜県羽島市付近にも長良川から木曾川をつなぐ約二キロの導水路を造り同四・七トを放流。上流ルートは放水量を同十五百八億円）を筆頭に、愛

より当初案に比べ導水路の断面積を二割程度小さくでき、事業費も八百九十億円と約十億円減らせるといふ。検討会では国や自治体の費用負担案も示された。国の四五・九％（四百八億円）を筆頭に、愛

だが事業費の圧縮は小幅にとどまるうえ、魚や貝の生活環境改善などが多額の税金を投じるにふさわしい目的かどうかも疑問が残る。水資源問題に詳しい伊藤達也・金城学院大教授は「徳山ダムの当初の建設計画には河川環境の改善という目的はなかった。導水路を建設するためにつけ加えた印象を受ける。行政はもつと導水路計画の妥当性について説明してほしい」と注文をつける。

▼徳山ダム 岐阜県揖斐川町の揖斐川上流部に位置する。中部地方の治水、利水、発電を担う多目的ダムとして水資源機構が整備を進める。高さ百六十一メートル、長さ四百二十七メートル。総貯水量六千九百立方メートル。浜名湖（静

知県三五・七％（三百八十八億円）、名古屋市長古屋市一三・六％（百二十一億円）、岐阜県三・三％（三十億円）、三重県一・五％（十三億円）としている。導水路は木曾川水系の濁水対策や愛知県と名古屋市の都市用水の取水が目的。濁水時に長良川中流域や木曾川下流域の水質が改善され、アユの産卵やヤマトシジミの生息に支障を来しにくくなる



徳山の旧村民 思い複雑



大牧富士夫さん

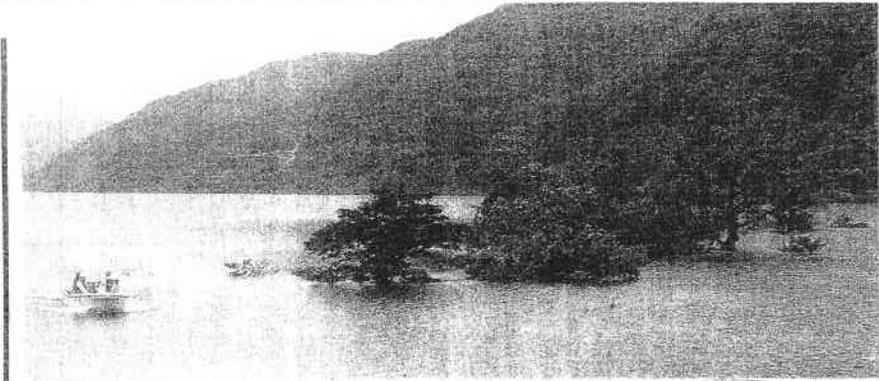
徳山村の記録で、「やがにならぬ感情がわいてきて水底になる谷、山の洞、て、ぼろんと立ちつくしそのどれにもかつて暮らした地名のなかで慣れ親しんだ地名がある」と書いた。現在、岐阜市郊外の北方町で娘夫婦や孫たちと暮らしている。ダム工事の進捗を現地に六月に訪れたとき、その思い出のあった谷や山の洞はすでに水底に沈んでいた。「こうなることはわかってはいたのに、言葉

旧徳山村で小中学校の教師を、廃村になる二年前の一九八五年に村を離れた大牧富士夫さん（79）は、今春出版した「ぼくの家には、むさびが棲んでいた」

「計画正当化へ 目的を追加か」

「計画を正当化するために新たな目的が加わり、中身が変わっていく」といふらだちを感じます。来春、本格運用される徳山ダムのダム湖の名前は、一般募集をもとに決められ見通しだ。「徳山」の名がつかない可能性もある。「ダムは認めたくない。でもせめて名前だけは……」。集落や世代で村への思いに温度差はあるが、大牧さんの願いはかつての村民全体の気持ちでもある。

だが事業費の圧縮は小幅にとどまるうえ、魚や貝の生活環境改善などが多額の税金を投じるにふさわしい目的かどうかも疑問が残る。水資源問題に詳しい伊藤達也・金城学院大教授は「徳山ダムの当初の建設計画には河川環境の改善という目的はなかった。導水路を建設するためにつけ加えた印象を受ける。行政はもつと導水路計画の妥当性について説明してほしい」と注文をつける。



昨年9月から試験貯水が行われている徳山ダム(岐阜県揖斐川町)のダム湖一帯が7日、船上から初めて報道機関に公開された。写真、谷之口昭撮影。

ダム湖は満水時の58%、最も深いところで約100メートルに達し、旧徳山村の小学校や民家は完全に湖底に沈んだ。総貯水量は、静岡県・浜名湖の約2倍に相当する約6億6000万トン。梅雨と台風で水位が増え、ダム本体の最高水位まであと約25メートル迫っている。

旧徳山村の住民らからは、山林の維持管理をしたという要望が強く、水資源機構は9日から毎週一回、ダム湖を渡る作業船を出す。

徳山ダム湖 船上の眺め

荒崎水害訴訟

本年度内に結審を

大垣市「水害をなくす会」総会



訴訟の状況などを確認した「荒崎地区より水害をなくす会」の総会。大垣市島町、荒崎地区センター

二〇〇二(平成十四年)七月の豪雨で浸水被害を受けた大垣市荒崎地区の

区より水害をなくす会(安保千春会長)の総会が八日、同市島町の荒崎地区センターであり、係争中の損害賠償訴訟の状況などを確認した。

荒崎水害訴訟は、揖斐川支流の大谷川にある洗堰(あらいせき)の越流で水害を受けた住民が、県を相手取り〇四年八月に岐阜地裁に提訴。原告団は現在百八十人。総会には会員約百三十人が参加。水害から五年を迎え、原告団長の安保会長が「荒崎水害が人災であることを決して風化させてはいけない。自分たちの手で行政を動かそ

う」とあいさつ。原告団が訴訟の経緯を説明し、本年度内に結審を目指す方針などを語った。

また二〇〇〇年九月の東海豪雨被害で、同じく住民訴訟をしている愛知県内の二つの原告団関係者も参加し、荒崎地区と同様、行政の対応の不備を指摘し、相互の活動の推進を訴えた。

岐阜新聞 07.07.09

朝日新聞 07.07.09

荒崎水害訴訟は04年8月に起こされ、大谷川洗堰などの河川管理、防災対策を怠ったとして県に損害賠償を求められている。原告団は現在180人。大谷川の水があふれた洗堰は、今年度中に1.05メートルかさ上げすることが決まっている。

安保原告団長は「かさ上げされても洗堰は依然残り、これがある以上、水害は発生する。兩岸同じ高さにかさ上げできるのは、いつのことか分からない。その前に輪中堤を造るなどで防ぐのが現実的。多くの人の声を集めて国や県に働きかけてゆきたい」と述べた。

中日新聞 07・07・14

住民の敗訴確定

東海豪雨 野並訴訟

二〇〇〇年の東海豪雨で浸水などの被害に遭った名古屋市天白区野並地区の住民ら二十五人が、河川管理の不備が原因として同市に計約二千七百万円の損害賠償を求めた訴訟の二審判決で、最高裁第一小法廷(今井功裁判長)は十三日、住民の上告を退ける決定をした。

原告敗訴の一、二審判決を棄却した。古屋高裁判決も住民の控訴を棄却した。

おおにし
大西 暢夫
のぶお
写真家・映画作家



徳山ダム（岐阜県揖斐川町）は貯水量6億6千万ト、全国一のダムだ。昨秋完成し、湖の溢水が始まった。学校も道路も沈み、逃げまどうバツタをビデオカメラに取めた。

ダムに沈んだ旧徳山村に通うようになって16年になる。岐阜県の池田町に育った私は、92年、テレビ局の仕事で村に入った。そこで徳田じよさんというおばあさんと知り合う。じよさんは難しいダムの話は一切しなかった。そんなじよさんの「兄ちゃん、これ食べな」と言いつつ両手にあふれるほどの漬けものをちやぶちやぶと並べた。

ダム建設の不合理、反対運動の軌跡……。当初思っていた狙いは消え、毎日、じよさん宅に

◆ダムを訪ねて

通う僕がいた。ビデオを回しながら、「これは何ですか」と尋ねるのが日課になった。

当時、村民たちは水資源開発公団（現水資源機構）との交渉で土地を明け渡し、隣接する街や岐阜県本巣市に一軒家を建てて移り住んでいた。しかし、じよさんをはじめ数人の人が村に戻った。生まれ育った土地を捨て去ることはできなかったのだ。テレビの撮影が終わってからも、僕は毎月、埼玉県の自宅から西にバイクを走らせた。

広瀬ハツコさんは岐阜県大垣市に移ったのにまた舞い戻っていた。家を壊したので隣の小屋に住んでいた。電気も水道もガスもない。マキを燃やし露天のお風呂に入った。「こんな幸せなことはないねえ」

村人はみな、ワザビ採りに出かける。じよさんは険しい山道を案々と歩き、僕は重い撮影機材を担いで追いかける。老人が

住民の思い 映画で伝える

いぶじたママシを「ごちそうしてくれ、ママシの焼酎も振る舞ってくれた。雪は深く、自然は過酷だが、自然の中で何と豊かな生活を送ってきたのか。

90歳を過ぎたじよさんは、意識がなぐ病院のベッドに横たわっていた。会議室にベッドを特別に用意した。枕元で「いま、一緒にワザビ採りに行った場面や」と言葉を吐き、「じよさん、もうなすい」と、夕張ニューパロダム（北海道）から川辺川ダム（熊本県）まで全国12のダムを訪ね続けてこれ10年になる。完成したダムもあれば、住民の執拗な抵抗で工事が一歩も進まないところもある。石木ダム（長崎県）に抵抗している住民はこう言った。「土地を売ったら先祖様にも申し訳がたない」

徳山ダムが完成したのを機に、映画に残そうと思った。膨大な記録を92分に圧縮した。この7月、完成した映画「水になつた村」を見てもらおうと、岐阜市に向かった。

90歳を過ぎたじよさんは、意識がなぐ病院のベッドに横たわっていた。会議室にベッドを特別に用意した。枕元で「いま、一緒にワザビ採りに行った場面や」と言葉を吐き、「じよさん、もうなすい」と、夕張ニューパロダム（北海道）から川辺川ダム（熊本県）まで全国12のダムを訪ね続けてこれ10年になる。完成したダムもあれば、住民の執拗な抵抗で工事が一歩も進まないところもある。石木ダム（長崎県）に抵抗している住民はこう言った。「土地を売ったら先祖様にも申し訳がたない」

徳山ダムが完成したのを機に、映画に残そうと思った。膨大な記録を92分に圧縮した。この7月、完成した映画「水になつた村」を見てもらおうと、岐阜市に向かった。

90歳を過ぎたじよさんは、意識がなぐ病院のベッドに横たわっていた。会議室にベッドを特別に用意した。枕元で「いま、一緒にワザビ採りに行った場面や」と言葉を吐き、「じよさん、もうなすい」と、夕張ニューパロダム（北海道）から川辺川ダム（熊本県）まで全国12のダムを訪ね続けてこれ10年になる。完成したダムもあれば、住民の執拗な抵抗で工事が一歩も進まないところもある。石木ダム（長崎県）に抵抗している住民はこう言った。「土地を売ったら先祖様にも申し訳がたない」

私の視点

My Viewpoint

— ワイド —

朝日新聞

2007年8月23日



水になつた村

自宅前の畑でカメラで草刈りをしていた徳田じよさん。徳山ダムが完成し、昨秋に水が入られたため、この辺りは一変した。93年10月ごろ、大西暢夫さん撮影